

令和8年度 青森市子ども会議 事前顔合わせ会

- 1 日 時 令和8年4月29日（水）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 集会室
- 3 出席者 子ども会議委員12名、ファシリテーター1名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 青森市子ども会議について・自己紹介
(2) 子どもの権利に関する講義
(3) 子どもの権利普及啓発Tシャツについて
(4) 令和8年度の活動について

5 開催概要

青森市子ども会議は、青森市子どもの権利条例第14条に基づき、まちづくりをはじめとした市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として設置され、小学5年生から原則18歳までの子どもたちで構成されています。

今年度は、子ども会議委員23名（小学生5名、中学生9名、高校生9名）と、子どもたちの活動をサポートする子どもサポーター3名（学生3名）で活動をスタートしました。

青森市子ども会議について・自己紹介

はじめに、事務局から青森市子ども会議について説明がありました。青森市子ども会議は、子どもの権利の4つの柱の中で「意見を表明し参加する権利」を特に大事にして、主に、青森市のまちづくりなどを調査したり、子どもの権利について学び、みんなにも知ってもらうための活動を行っています。令和7年度は、「笑顔あふれる青森市」をテーマに様々な活動を行ったことや、これまでに子ども会議フォーラムで表明した意見が青森市のまちづくりに実際に取り入れられた例などを紹介してもらいました。

次に、自己紹介を行い、青森市の好きなどころなどについてもあわせて発表しました。



子どもの権利に関する講義

続いて、子どもの権利擁護委員の関谷道夫先生から、新年度のスタートとして初めて顔を合わせた子ども会議委員の緊張をほぐすため、アイスブレイクを交えた子どもの権利に関する講義をしてもらいました。

アイスブレイクでは、出来るだけ多くの人と握手をするゲームや、ペアになった相手の素敵だと思っ



たところを見つけて3つ伝え合う「いいところ探しゲーム」を行いました。

他にも、「最近あった良かったことや気づいたこと」を共有し、全員で拍手をする「Good & New (グッドアンドニュー)」や、「未来の私からのメッセージ」などのプログラムも実施しました。今年度一緒に活動するメンバー同士の交流を深めることができました。

子どもの権利普及啓発Tシャツについて

続いて、今年度のTシャツのデザインについて話し合いました。みんなに事前に考えてきてもらったデザイン案の中から、1人1案を選んで投票を行いました。票数の多かったデザイン2つをもとに、話し合いを行い、それぞれの表面と裏面のデザインを組み合わせることとしました。また、Tシャツの色については、事前に考えてきてもらった案の中で黒色と緑色系が多かったため、改めて多数決を行いました。その結果、最も人気のあった「メロン」という黄緑色のカラーに決定しました。イラストについては、りんごのイラストが映えるよう、赤色を使用することとしました。



令和8年度の活動について

最後に、子ども会議フォーラムに向けての活動を行いました。はじめに、事務局から子ども会議委員の役割と青森市の現状について説明がありました。その後、昨年度に引き続き子ども会議フォーラムに向けた活動について話し合い等をサポートしていただくファシリテーターの先生に進行していただき、ワークシートを使って、活動に取り組みました。事務局からの説明を踏まえ、「これから青森市にどのような変化が起こるか」について、一人ひとりが考えを整理しながら、ワークシートに記入しました。次に、3つのグループに分かれて意見交換を行い、それぞれの考えを紹介しあいました。その後、各グループを代表して高校生委員が発表を行いました。みんな真剣に話を聞き、メモを取りながら考え、堂々と意見を発表する様子が見られ、今年度1回目にふさわしい話し合いとなりました。

次回は、今回の内容をもとに、より具体的に考えながら、今後どのような活動を行っていくかについて引き続き考えていきたいと思います。

